

おたけっ子から 未来の科学者を

総合市民会館

多くの企業が立地する大竹市。夏休みを利用し、子ども達に科学に興味を持ってもらうべく、地元企業によるサイエンス教室が開催された。

8月20日の午後は、磁性体を主に扱う戸田工業株式会社による、手作りモーター教室が開かれた。子どもたちは磁石の仕組みなどを聞いた後、モーター作りに取り掛かったが、最初は自分で作ったコイルがなかなかうまく回転せず、会社の人にコツを聞いたりして試行錯誤しながら、紙コップを使ったモーターを完成させていた。参加した若林潤空さん（小3）は、「楽しかったです。来年もぜひ参加したいです」と話していた。

8月20日



(上) モーターを作る前に、磁石の動きを理解する。



(下) コイルがなかなか回らない。
(左) 紙コップを使ったモーター！



8月21日、23日の午前中は、三菱レイヨン株式会社による、万華鏡を作る教室が開かれた。子どもたちは3枚の鏡を注意深くつなぎ合わせた後、紙筒の中に入れ、同社で造られたさまざまな色のアクリルのチップから好きなものを選んで中に入れていった。このため、それぞれが違った模様を写し、また、筒の周りも自分でデザインし、世界で一つだけのオリジナルの万華鏡が完成した。

8月21・23日



(左) 万華鏡の周りは自分でデザイン。

(右) どんなふうに見えるかな。
(下) 中に入れるアクリルのチップを選んでいく。



8月21日の午後は、株式会社ダイセルによる、プラスチックの膜を作る教室が開かれた。さまざまなプラスチック素材を扱う会社ならではの、大型の乾燥機を会場に設置しての教室となった。薬品を扱うだけに、子どもたちはまず、さまざまな注意事項を聞いたあと、原料となる薬品を混ぜて合わせる作業を始めた。そしてさらに、絵の具を混ぜ合わせて自分の好きな色を付け、均等に伸ばした後、機械で乾燥させると、さまざまな色をした、きれいなプラスチックの膜が出来上がった。

8月21日



(上) 注意深く原料を混ぜ合わせていく。



香山さんの やさしい講演会

アゼリアホール

さまざまな文化にふれる、市民文化講演会。今年度は「心」をテーマに、2人の講師を招いて行われる。

9月1日には、精神科医の香山リカさんによる講演が行われ、約500人の人がアゼリアホール集まった。

「ひとにも自分にもやさしく生きる」という演題で、香山さんは、無理をせず、自分にやさしく生きていくことが大切と、繰り返し話していた。

市民文化講演会は、10月17日(水)には、経済評論家の勝間和代さんの講演が行われる。

(左) 「もう少し自分にやさしくしても良いんじゃない」と、話をする香山さん。



9月1日



(上・右) 会場には多くの人が集まり、香山さんの話に聞き入った。



CONTENTS

02 カメラスケッチ

特集

06 帰ってきた gomidas

- 10 知っていますか？糖尿病
- 12 保険証が茶色になります
- 14 インフルエンザを予防しましょう
- 15 障害者委託訓練生の募集／いろいろな相談ができます
- 16 ペットはマナーを守って飼いましょう／犬の登録と狂犬病予防注射／鳥獣から農作物を守ろう
- 18 広島広域都市圏協議会のイベント
- 19 大竹祭／マロンの里秋まつり
- 20 待望の区画、一般分譲開始
- 22 学校へ行こう／小中連携・小中一貫だより
- 24 市消費生活センター／第五次大竹市総合計画／市民文化講演会
- 26 シリーズ／みんなで考えよう公共交通
- 28 生涯学習講座／勤労青少年ホーム
- 30 としょかんだより
- 31 情報ステーション
つどいの広場／親と子の本の広場／子育て／健康／福祉／催し／募集／お知らせアラカルト／先どり情報ステーション
- 39 トピック／広告
- 40 はじめまして／音色の轍

今月の表紙

おおたけっ子らんらんカレッジ



表紙の写真は、8月20日～21日、23日に総合市民会館で行われた、おおたけっ子らんらんカレッジの様子です。

地元企業による小学生を対象としたサイエンス教室は、企業のまち大竹市ならでは。おおたけっ子だけの、特別な夏休みになりました。



(下)仲間の大切さを学びました。
(左)人形劇で感じたことをカードに書く。



(右)一緒になって、うんとこしょ、どっこいしょ。
(下)先生も参加して、一緒にかぶを抜く。

95

人形劇で
人権の心を学ぶ
玖波小学校

人形劇で人権の心を学んでもらおうと、人権擁護委員による人形劇が、玖波小学校で行われた。

演目は、子どもたちもよく知っている「おおきなかぶ」。「うんとこしょ、どっこいしょ」と、みんなで声を上げ、一緒になって盛り上がった。



市内各地で敬老会
アゼリアホールほか

長年社会に貢献してきた高齢者をたたえる敬老会が、市内各地で開催された。地元の人により、華やかに飾り付けられたそれぞれの会場では、料理が用意され、長寿を祝った。

16日にアゼリアホールで行われた敬老会では、式典のほか、演芸などが行われ、出席した高齢者を楽しませていた。



(下)傘寿(80歳)となった人に、記念の杖を贈呈。



916

(右)お祝いの言葉を述べる入山市長。
(上)大竹地区敬老会の会場となったアゼリアホールには、多くの高齢者が訪れた。

